

Vol. 84  
2024.

5

 **HAGIWARA** TIMES

大麻東雁来線総A1地方道工事(路盤工)(明許)

令和4年度 産地生産基盤パワーアップ事業 幕別町農協 糠内加工用馬鈴しょ集出荷貯蔵施設新築工事





●着工前 R5年7月撮影



●完成 R6年3月撮影

## 大麻東雁来線総A1地方道工事(路盤工)(明許)



●市道部施工状況



●R5年10月 1回目交通切替(市道交差点付近)



●路床掘削状況(ICT施工)



●R5年12月 2回目交通切替(起点付近)

- 工事名 : 大麻東雁来線総A1地方道工事(路盤工)(明許)
- 発注者 : 空知総合振興局 札幌建設管理部
- 施工業者 : 萩原建設工業株式会社

- 施工場所 : 江別市
- 進捗率 : 3月25日完成
- 施工期間 : 令和5年7月3日～令和6年3月25日

# 土木

本工事は、交通安全の確保、物流効率化による地域経済の振興および隣接する都市部の渋滞緩和を目的として道路の拡幅整備を行うもので、延長L=2015.9m、道路土工(掘削)=14400m<sup>3</sup>、下層路盤A=11080m<sup>2</sup>、縁石L=1193m、大型標識N=5基が主な工事内容です。

施工は、2回の交通切替により未整備箇所の改良を行い、水道・電柱移設や信号機設置の他工事と工程の調整を行うとともに、隣接する地権者のアクセス路を確保するため、取付道路の半断面施工や仮道の造成等を並行しての作業となりました。特に、市道との交差点付近の施工においては、交通量が極めて多く交通事故の危険もある箇所のため、交通を確保しながら施工するのは非常に難しい作業でありましたが、現場職員、協力業者、交通誘導員と事前シミュレーションによる打ち合せを行うことで事故なく現場を完成させることができました。

現場代理人、監理技術者: 林 博樹 / 担当技術者: 小針 優聖・朝倉 聖也



●外観全景

## 令和4年度 産地生産基盤パワーアップ事業 幕別町農協 糠内加工用馬鈴しょ集出荷貯蔵施設新築工事



●通路



●倉庫



●事務棟・トラックスケール



●検査室・品検台

- 工事名 : 令和4年度 産地生産基盤パワーアップ事業  
幕別町農協 糠内加工用馬鈴しょ集出荷貯蔵施設新築工事
- 発注者 : 幕別町農業協同組合 ● 設計 : 株式会社 岡田設計 帯広事務所
- 施工業者 : 萩原・川田・市川特定建設工事共同企業体 ● 進捗率 : 100%

- 施工場所 : 中川郡幕別町字糠内385番地1
- 工事監理 : ホクレン農業協同組合連合会
- 施工期間 : 令和5年5月16日～令和6年2月22日

本工事は、幕別町農協・帯広大正農協・札内農協と広域集荷を行う馬鈴薯貯蔵の拠点施設として計画されました。

施設は定温貯蔵2室・冷蔵貯蔵3室(多目的貯蔵2室を含)・定温エチレン管理貯蔵3室・冷蔵エチレン貯蔵2室総貯蔵量:9968tの施設に加え、集出荷管理を行う事務棟、トラックスケール、貯蔵馬鈴薯の検品・検査室、シスト線虫予防のための車両洗浄施設を整備した総合貯蔵施設となります。

工期の9ヶ月間、糠内地区特有の寒暖差や連続真夏日など厳しい施工環境の中、無事、建物をお引渡すことが出来たのは、JV職員、協力会社様のご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

現場代理人、監理技術者: 功刀 朋紀 / 主任技術者: 嶋宮 剛  
担当技術者: 服部 勇氣(川田工業)・山口 直斗(市川組)・荻内 嵩太



# 建築



# ～ZEBプランナー登録のお知らせ～

弊社は、地球環境に配慮された建物を実現するためのZEB化業務支援推進者として、十勝管内では初となる「ZEBプランナー」に登録されました。

2015年に採択されたパリ協定において、日本は温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で26%削減することを目標としました。これを受けて建築業界でもエネルギー消費量を削減し、創エネルギーで自給する建物「ZEB」の早急な普及拡大が求められており、この達成に向けて、弊社は脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現を目指し、環境共生型の建物の重要性、ZEBの意義やメリットをお客様と共有し、経済的で技術的にも利用可能な先進技術を最大限活用し、ZEB水準の省エネルギー性能を有する地球環境に配慮された建物の普及に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## ※ ZEBとは

Ner Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼び、先進的な建築技術を採用し日射遮蔽・自然エネルギーの利用、高断熱化、高効率化によって大幅なエネルギー負荷の抑制を実現した上で、太陽光発電等の自然エネルギーの積極的な活用及び高効率な設備システムの導入等により、年間エネルギー消費量ゼロを目指した最先端の建物です。

建物をZEB化することにより、地球環境への配慮(不動産価値向上)や社会貢献(企業イメージ向上)に留まらず、もっとも身近な問題として快適な室内環境を実現しつつ建物の維持費の低減(光熱費削減)に大きく期待できます。



ZEBに関するお問い合わせは建築部 設計課へ !!

## 📷 今月の表紙

撮影: 萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

今月の表紙は中札内村の桜六花公園です。桜六花公園まで直線距離で4km離れている西札内地区の一本山の塔から望遠レンズで撮影しました。この公園は2000年に六花亭製菓から寄贈された約1000本の蝦夷山桜を植樹した公園で、2015年には展望台が設置され、桜一面の美しい景色が楽しめます。これから観光シーズン本番です。たくさんのお客さまに美しい十勝を楽しんでもらいたいです!



未来を築く情熱を、挑戦に。

 萩原建設工業株式会社

創業 106 年

